

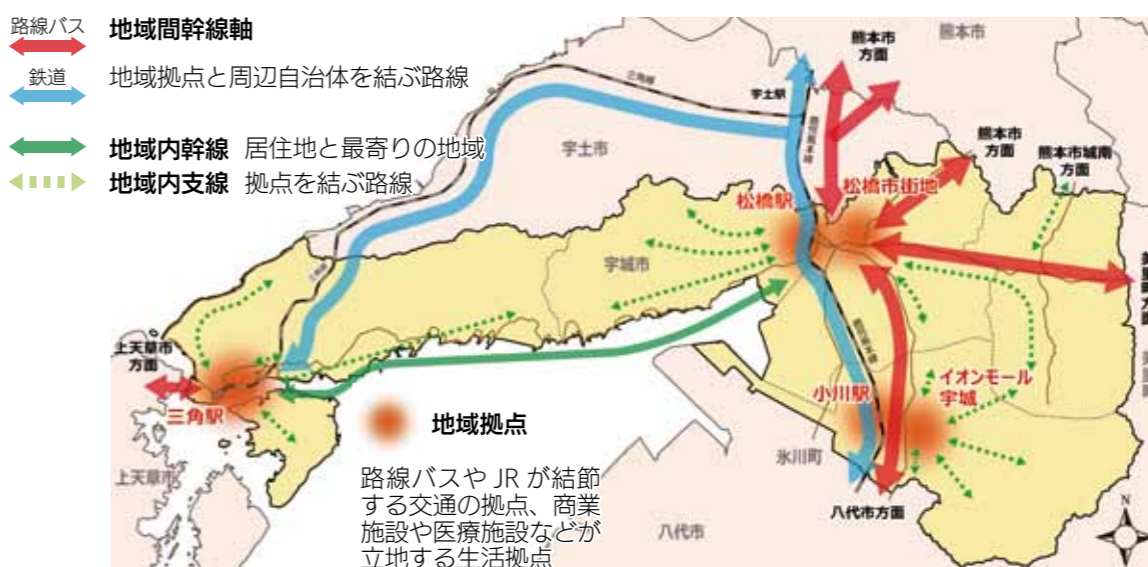
※トリガー制度 バスの新規路線で年間利用者数などに基準を設け、下回った場合に運行を見直す制度。

今回のテーマ
「宇城市地域公共交通網形成計画」の策定
～ “べんり”から一歩ふみ出す ～ を基本理念に

市では、将来にわたって持続可能な地域公共交通網を形成することを目的とした「宇城市地域公共交通網形成計画」を策定しました。近年、人口減少や高齢化に加え、熊本地震の影響から公共交通の利用者数が減少しており、維持するための行政負担が増大し

ています。この計画には、課題に対応していくため、初めてトリガー制度※を導入しました。また、松橋駅、小川駅などの地域拠点を中心とした交通結節機能の強化に主眼を置き、地域公共交通のあるべき姿としての基本理念と方針を設定。目標達成に向けて必要な施策を定めています。

宇城市が目指す地域公共交通網の姿



目標達成に向けた具体的施策

- 路線バス・乗合タクシーの利用促進
- 駅などを拠点とした交通結節機能の強化
- 乗合タクシーの新規導入検討や見直し
- 既存ストックなどを活用した新たな地域公共交通システムの検討・導入
- 路線バスの見直し・再編

詳しくは市ホームページで →



出向期間 2019年4月 1日～
2021年3月31日(2年間)
派遣元 (株)TKC。本社は栃木県宇都宮市。地方公共団体向けの情報サービスを提供する。

4月1日から、総務部市長政策室の行政経営係で勤務している松井佑樹と申します。(株)TKCからの出向で、宇城市役所で2年間働くことになりました。宇城市役所では、平成29年度からRPA(定型的な業務を自動化する技術)を取り入れて内部管理業務の効率化を進めてきましたが、(株)TKCでのシステムエンジニアの経験を活かして、さらにRPAの業務範囲を拡大していきたいと思っています。

読んでみたい

論語

その50



市内小・中学校では、「論語」を学ぶ取り組みを行っています。「論語」は、古代中国の思想家、孔子の教えを弟子たちが書き記したもので、人としての生きる道や考え方、道徳が示されています。このコーナーでは、教訓として活用している事例などを紹介します。

今月の紹介者



小川中学校3年

中村 若菜 さん



子曰はく、
「我れ三人行へば、必ず我が師有り。」と。
先生は言われた、
「自分を含めて二人で行動したら、きっと他の二人の言動は、必ず自分にとって学ぶべき師となる。」と。

私はよく、三人で行動します。クラスの友達、部活動の友達など組み合わせはさまざまです。

クラスでは、休み時間などに勉強のことについて「こうすればもっと良くなるよ」と教え合います。所属している卓球部では、ボールが入らないときにラケットの角度を確認し合います。教え合うことによって、教えてもらう側だけでなく、教える側の立場も経験することが出来ます。私は中学二年生頃から、こういった教え合いをしてきたので、テストや試合がうまくいきました。

友達と一緒に行動すると、相手

を知ることが出来ます。また、今まで知らなかったことを教えてもらい、知識も増えました。そして、周りの友達の意見を聞くことで自分の考えを深めることも出来ました。

今年、三年生になり、進路で悩むこともあります。こういうときこそ、友達同士で気持ちを伝え合い、お互いに励まし合うことで心が強くなるのではないかと思います。友達と悩みを分かち合い、人生の先輩である両親や先生方にも相談しながら、自分で納得できるように進路を決めていきたいと思っています。